

啓北ネット通信

令和2年1月17日 NO. 316

啓北小学校区地域ネットワーク委員会発行



陶芸のサポーター



11月から12月にかけて、高橋千恵子先生のご指導の下、5・6年生は陶芸に取り組みました。

今回、初めて陶芸に取り組む5年生は、事前にオリエンテーションを受け、作りたい作品のイメージを膨らませてから制作に臨みました。11月20日・21日、千恵子先生の熱心なご指導の下、5年生はとても楽しそうに陶芸に取り組んでいました。そのような中、5年生は「皿の底の厚さがこれでよいのか」「ひび割れができていないか」という心配があったため、千恵子先生に作品を見ていただき、様々なアドバイスを受けていました。千恵子先生からいただいたアドバイスによって、5年生はさらに意欲的に作品を制作していました。

11月13日・14日、6年生は、昨年度に引き続き、陶芸に取り組みました。千恵子先生の説明を聞いた後、6年生は、とても楽しそうに陶芸に取り組み、「この皿にカレーライスを入れて食べる。」「ここに刺身をのせて、ここに醤油を入れる。」などという会話が至る所から聞こえてきました。皿が出来上がると、皿の底の裏に名前を書きました。その際、皿が大きく、名前を書くことに苦労している人に対して、「大丈夫？手伝うよ。」と声をかける姿が見られ、とても嬉しく思いました。



その後、素焼きを行い、12月12日・13日に5年生、12月18日・19日に6年生が再度陶芸に取り組みました。千恵子先生のご指導の下、素焼きされた作品を紙やすりで仕上げを行い、その後、千恵子先生が一人一人の作品を釉薬に付けてくださいました。6年生は皿の中に青色や緑色、透明のガラスを入れ、「焼いたら、どのようになるのか、楽しみ！」と笑顔で話していました。各学級2回ずつ授業を行ってくださるとともに、窯入れ・窯出しなど、何度も学校に足を運んでくださった千恵子先生、本当にありがとうございました。

